

# 一般質問

# 7議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



## 一般質問事項

質問者	件名	頁
田境 毅	1 歩行者に対する安全対策を 2 ICT機器導入の促進を	13
水野千代子	1 正しい情報分かりやすい周知を 2 新たな養育者に10万円支給を	14
伊澤 伸一	1 空家問題は最後まで責任を取れ 2 公平性を損なう事業は中止を	15
都築 幸夫	1 住民に安全安心なため池整備を 2 JA幸田前横断歩道に信号機を	16
稲吉 照夫	1 業務の交通整理が出来る組織か 2 2世帯が住める区画の計画は	17
丸山千代子	1 気候危機打開へ再エネ推進を 2 長嶺福祉医療ゾーンの見直しを	18
黒木 一	1 職員の長期欠勤の具体的制度は 2 職員の教育・研修の実態は	19

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。

今回、初めて傍聴させて頂きましたが、国会等で取り上げられている、SDGs、カーボンニュートラルなど世界共通の課題に対し、幸田町が今後どのような形で関わって行くのか、という所で興味深



いちかわ ゆうじ  
市川 雄二さん

豊かで未来ある  
幸田町への期待

く聞いておりました。また社会問題にもなっている職場での適応障害による、特に若い世代の休職が増加している事に対する幸田町の取り組み、そして今後の町政を担う若手職員の教育・研修によるスキルアップ対策についても、本気度が肌で感じられる程、熱気のある質疑が交わされた事が、今後の豊かで幸せな町づくりに寄与すると確信しました。

議会だよりでは、質問と答弁を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。

議事録



議会映像





たきょうつよし 田境毅 議員

# 歩行者に対する安全対策を

## できる範囲での対策を実施



**問** 安全で快適なまちづくりにおいて、交通安全施策は、緊急かつ重要課題。

**答** 事故低減施策に対する成果の分析は、総務部長▼交通安全事故死および事故件数は減少傾向にある。

**問** 交通安全対策の課題は。

**答** 建設部長▼舗装劣化による道路修繕工事が高額で、グリーンベルト再塗装が即施工できない。  
また、防護柵は必要となる歩道部分の用地確保が課題。

**問** 中学校通学路の安全の課題は。

**答** 教育部長▼学校が検討し設定しており、課題が生じた際はその都度検討し対応している。

**問** 交通安全マップを町民の目に触れる形で活用を。

**答** 総務部長▼ホームページに掲載などの情報提供や、交通安全・防犯活動の取り組みに活用していく。

**問** 横断点減器設置で、歩行者に対する安全対策を。

**答** 岡崎警察署に信号機設置の継続要望

をしていくと共に、設置困難箇所は、できる範囲での対策を実施するよう努めていく。

ICT機器導入の促進を

理解を得ながら進めていく

持続可能な行政区運営は具体的アクションが望まれている。



横断点減器 (大府市内)

**問** 運営を伝承する観点から課題分析は。

**答** 総務部長▼いかに若い世代や新住民を取り込み、行政区運営の担い手を確保していくかが重要な課題。

**問** 現役世代も関わりやすい環境づくり促進を。

**答** 慣例的にやってきたことも、省略や簡素化の振り分けをし、役員や地域住民の負担感を解消し、地域活動に関わりやすいようにすることが重要。

**問** 役員や在住者の負荷低減の取り組みをどのように考えるのか。

**答** 今後取り組むべき課題として、行政区運営のデジタル化は必須である。

**問** ICT機器導入の促進を。

**答** 導入費用の補助、機器の無償貸与、勉強会や講習会の開催などの支援が考えられる。

目的や意義または効果を説明し、理解を得ながら進めていく必要がある。

**問** 市街化区域と調整区域それぞれの良さを感じられる、町に合った持続可能な行政区運営の考えは。

**答** 町長▼国や県のような取り組みの事業をうまく消化させることによって、地域でやりたい方々を一つのモデルにしながら、調整区域の魅力、市街化区域の人たちの交流の機会を含め、幸田町のさらなる5万人達成の人口増に向けた取り組みを、やってみたいと思う。